

骨粗しょう症の

骨に告ぐ。

「骨粗しょう症」の警戒サインは、ちょっとした事での骨折が代表的。また、背が縮んだ、背中が曲がってきたなど、目に見える身体的変化もその一つ。身体的変化は、歩きにくさを増し転倒を誘発。そして、転倒による骨折への恐れは出歩くことをためらわせます。この結果、足腰はさらに弱り、「運動器不安定症」と呼ばれる起立歩行が不安定な状態になります。このような悪循環が「要介護状態」や「寝たきり」になる可能性を高めます。

「骨粗しょう症」や骨の健康が気になる方は、お近くの整形外科へ。

骨折、身長縮みは
骨粗しょう症の
警戒サインだぞ！
運動器不安定症は
骨粗しょう症の
警戒サインだぞ！



整形外科に行かなくちゃ



運動器の10年

国連とWHO（世界保健機構）では、2001年から2010年までの10年を「骨と関節の10年」として世界運動を展開しています。日本ではそれを「運動器の10年」と置き換えて整形外科医が中心となって活動しています。

東京都臨床整形外科医会

〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台2-5 東京都医師会館305
<http://www.jcoa.gr.jp/tcoa/>

◎「1日電話相談」を実施します
 受付：10月9日（木）午前9時～午後4時まで
TEL.03(3259)7991

後援：「運動器の10年」
 東京都推進委員会

協賛

旭化成ファーマ株式会社

hvc Eisai エーザイ株式会社
ヒューマンヘルスケア企業

科研製薬株式会社

大正富山医薬品株式会社

CHUGAI 中外製薬

TEIJIN

BANYU 万有製薬株式会社

Roche ロシュグループ

帝人ファーマ株式会社